



「今回の受賞は、県発明協会の活動が認められたもので、その代表として受賞したのです」と控えめに語る千田会長。「協会を長く継続し、子どもたちの夢を実現する手助けをしていきたい。個人としても、その一助となれたら——」と気持ちを新たにしていました。

■ 11 月以降の活動予定

月日	活動内容
11月2日	作品展示 水沢ふれあい南まつり
8日	エネルギー利用工作 横ばい力二さん
29日	無人ヘリ講座 新型無人ヘリ試験飛行
12月13日	郷土素材研究
1月17日	お楽しみ教室
24日	科学調理教室
2月14日、15日	パソコン教室・工作 CDマグネットローラー
3月7日	閉講式 修了証書授与、作品展

鉄道フェスタ 2014 in Zホール

岩手鉄道模型仲間の会の主催により、ことしも鉄道フェスタが開催されます。

今回は、市水沢少年少女発明クラブ創立 30 周年記念事業で製作したミニレイアウトを展示。そのほか、I L C と鉄道の意外な関係を紹介するコーナーも設置されます。ぜひ足をお運びください。

■日時＝ 11 月 22 日(日)、23 日(月) 午前 10 時～午後 5 時
※ 23 日は午後 4 時まで

■場所＝市文化会館（Zホール）

■内容＝《模型展示》モジュールレイアウト、プラレール
《企画展示》市水沢少年少女発明クラブ創立 30 周年記念レイアウト、I L C と鉄道の意外な関係展

《その他》おもちゃドクターによる修理

■入場料＝無料

■問い合わせ＝岩手鉄道模型仲間の会
児玉 直人 事務局長（☎ 090-2957-1379）



鉄道模型レイアウト製作の様子を披露した創立 30 周年記念事業

県発明協会長に 全国発明表彰 が贈られる

（公社）発明協会が主催する 26 年度全国発明表彰において、本市在住で（一社）岩手県発明協会の千田伏二夫会長に発明奨励功労賞が贈られました。この表彰は、大正 8 年に始まり、長い歴史があるもの。発明を完成させた人や発明の指導・育成に貢献した人を毎年表彰しているものです。



市水沢少年少女発明クラブ
佐藤 好夫 指導員（75）

Profile

さとう・よしお◎副会長兼指導員。
設立当初から同クラブに関わり、長年にわたり多くの子どもたちに接してきた。トヨタ自動車東日本（株）岩手工場ものづくり改革室の非常勤アドバイザー

現状では水沢区以外の会員は少数。佐藤会長は「範囲が広がれば、さらに可能性は広がる。多くの子どもに参加してほしい」と言います。
「私たちの役割は、子どもたちの将来に向けたきつかけづくり」と語る佐藤指導員は「成果を評価し、褒めてあげると期待を膨らませます。子どもたちが楽しみながら多くのことを学ぶ」。その活動は、これからの新たな歴史を刻んでいくことでしょう。



奨励賞（県発明協会会長賞）

吉田 勇希 君（水沢小2年）



【作品名】きのいのち
ちょきんぱこ

賞に入らないと思っていたので、とてもびっくりしましたが、今はとてもうれしいです。ホットボンドで穴を埋めて丈夫にして、入れたお金が見えるようにカーテンを付けました。

もともとのを作ることが大好きだったので、ことしから発明クラブに入りました。来年の発明くふう展でも入賞を狙います。



特賞に輝き、賞状を手渡された渡邊彩さん

特賞に輝いた彩さんは「ものづくりが大好き」と目を輝かせ「発明クラブは、違う学校の人と交流できるのが楽しい」と笑顔を見せました。

発明くふう展に出品するための指導に情熱を燃やす佐藤指導員は「子どもたちは大人にはない発想を持っている。私たちは、それを実現させるための補助なのです」と穏やかに微笑みました。
過去、同クラブの会員は、全国でも数々の賞を受賞しています。「毎年全国で入賞できれば——」と語る佐藤会長は「全国への出品は評価につながり、自分たちの活動がどの程度なのか測ることができると、今後に向けても意欲を見せています」。

未来 FUTURE

ことし 30 周年の節目を迎えた少年少女発明クラブ。「家族ボランティアや中高生指導員の参画は大きな力」と市担当者の豊田さおり社会教育指導員は語ります。
同クラブは、市町村合併以降、市全域に募集範囲を広げたものの、もともと水沢区でスタートしていることもあり、



優良賞（株）テレビ岩手社長賞）

千葉 奏明 君（南都田小6年）



【作品名】雨水利用の
水力発電ガーデンライト

仕上がりに満足していないところもあって、今回の作品で賞に入ったのはありがたいことだと感じています。水車の位置や土台の材料は工夫しましたが、針金でつながせるところが大変でした。

2 年生から発明クラブに入り、ことしで卒業ですが、来年は中高生指導員として発明クラブへの参加を考えています。



【作品名】おさるの
ビニール出しき

初めて出品してみましたが、賞をもらってとてもうれしいです。最初、ビニールがうまく出てこなかったで、ペットボトルに切れ目を入れて回転しやすくしたり、滑り止めを貼ったりして、いろいろ工夫してみました。

来年は、もっと頑張つて、今回よりも上の賞を狙いたいと思っています。



優良賞（産経新聞盛岡支局長賞）

千田 栄輝 君（真城小2年）

成果 RESULT



【作品名】ハイブリット
こくばん消しクリーナー



特賞（県教育委員会教育長賞）

渡邊 彩 さん（姉体小5年）